

事務事業評価シート

| | | | |
|-----------|------|-----------|---|
| (H.28)No. | 1465 | (H.27)No. | - |
|-----------|------|-----------|---|

| | | | |
|----------|--------------|-------|--|
| 事務事業名 | 幼児教育推進体制構築事業 | | |
| 担当部局名 | 担当室名 | 室長名 | |
| 教育委員会事務局 | 学校教育室 | 中森 早苗 | |

| | |
|---------|---------------|
| 会計区分 | 事業コード |
| 一般会計 | (中事業名)※予算書事業名 |
| 款 教育費 | 教育振興費 |
| 項 教育総務費 | (小事業名) |
| 目 教育振興費 | 幼児教育推進体制構築事業 |

1. 事務事業の位置付け

| | | | |
|---------|------|---|---------------------|
| 総合計画 | 政策 | 4 | 豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち |
| | 基本施策 | 1 | 生きる力をはぐくむ教育の推進 |
| | 施策 | 1 | 学校教育 |
| | 小施策 | | |
| 重点施策コード | | | |

2. 事務事業の概要

| |
|--|
| 事業目的(めざす効果) |
| 保育所(園)、幼稚園、小中学校の連携をより強化するとともに、保育士・幼稚園教職員の資質・能力の向上、名張版の教育課程の策定等により、小1プロブレム等就学時の課題を解決し、小学校教育へ円滑な接続を行います。 |
| 事業内容 |
| 小学校と幼稚園・保育所を巡回する幼児教育アドバイザーを配置し、相互の職員への指導を行うとともに、名張版「スタートカリキュラム」を策定し、指導内容・指導方法を明確にするとともに、名張市のめざす小中一貫教育を推し進め、就学前1年の幼児をプレ小学生とし、学校体制を前期課程5年、後期課程5年で行う基礎をつくります。 |

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

| | H.27年度(事業量・取組実績) | H.28年度(事業量・取組計画) | H.29年度(事業計画) | H.30年度(事業計画) | H.31年度(事業計画) |
|------------|------------------|---|--|---|--------------|
| 主な事業の実績・計画 | | 幼児教育アドバイザー2名を設定し、保育幼稚園室及び学校教育室に配置する。公立幼稚園2園には、園内リーダーを位置付ける。幼児教育アドバイザーは、就学先小学校を訪問し、1～2年生の授業の状況を参観し、担任教師に幼・小のスムーズな接続に向けての指導・助言を行う。また、市内の幼稚園及び保育所(園)を巡回し、教育内容や指導方法、教育環境の改善等について指導・助言を行う。 | 就学先小学校を月に1～2回訪問し、授業の状況を参観し、保・幼・小のスムーズな接続に向けた指導・助言を行うとともに、名張版「スタートカリキュラム」の改善見直しをはかる。同時に幼稚園・保育所教育施設を巡回し、教育内容や指導方法、環境の改善等について指導助言を行う。 | 幼児教育アドバイザー4名の体制で、就学先小学校を月1～2回、授業状況を参観し、名張版「スタートカリキュラム」の確立を目指す。あわせて幼稚園・保育所(園)教育施設を巡回し、園内リーダーとの連携により、教育内容や指導方法、環境の改善等について指導助言を行う。 | |

| | H.27年度(決算見込) | H.28年度(作成時予算額) | H.29年度(計画予算) | H.30年度(計画予算) | H.31年度(計画予算) |
|---------|--------------|----------------|--------------|--------------|--------------|
| ①直接事業費 | 0千円 | 2,947千円 | 3,366千円 | 6,477千円 | 0千円 |
| 内訳(千円) | | | | | |
| 国・県支出金 | | 2,947 | 3,366 | 6,477 | 0 |
| 地方債 | | | | | |
| その他() | | | | | |
| 一般財源 | (0) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 人工数 | | | | | |
| 職員 | | 0.06人 | 0.06人 | 0.06人 | |
| 臨時職員等 | 0.00人 | 0.01人 | 0.00人 | 0.01人 | 0.00人 |
| ②概算人件費 | (0千円) | 473千円 | 456千円 | 473千円 | 0千円 |
| ①+②総事業費 | (0千円) | 3,420千円 | 3,822千円 | 6,950千円 | 0千円 |

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

| | |
|---|---|
| 考察(H.27年度の取組評価、課題) | 今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容) |
| 名張市では、小中一貫教育(4-5制)の推進とともに、就学前教育と学校教育とのスムーズな接続について研究し、5-5制の教育課程の検討を進める中、本事業について申請したところ、受託することができた。 | 3年間の本事業を受託し、幼児教育アドバイザーによる幼・小のスムーズな接続に向けた現状把握とスタートカリキュラム(教育課程)の作成により、5-5制の教育体制の構築をめざす。 |

| 点検項目 | 内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容) |
|--|---|
| (1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献) | 就学前教育と義務教育の接続期のカリキュラムを作成することで連続性のある一貫した教育が実現し、子どもたちに夢を実現する力・社会を拓く力が育まれます。 |
| (2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない | |

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

| | |
|---|--|
| 【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む) | 継続(現行) |
| 具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 | 6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 第二次名張市子ども教育ビジョン ばりっすすくすく計画(第3次) |
| 市内小学校の1・2年生と就学前の4・5歳児の現状を把握し、名張市の子どもたちの状況に応じたスタートカリキュラムを作成するために、関係者がさらに連携を深めていく必要があります。 | |